

# 「堆肥作り」 Composting

## 国際交流員の活動日誌

vol.38

ひとこと英会話

### Knock on wood

未来について話す時や悪い前兆に気づいた時、おまじないのように言う習慣があります。例えば「I am not going to get sick. (私は病気になるいせん) Knock on wood.」体調に気を付けて過ごしましょう！  
(シャネン)



### Information

市政だより英語ダイジェスト版を市役所、総合支所、保原駅、梁川駅で配布しています。

5月になると農業や園芸で忙しい人の姿をよく見ます。僕は農業や園芸を深く尊敬します。僕には全くできない事だからです。どんなに頑張っても雑草と害虫しか育てられません。自分の運命は農家になる事ではないと受け入れています。しかし、堆肥作りが好きで、米国で趣味でよく作りました。おかしいと思われるかもしれませんが、堆肥作りはシアトル市で特に人気です。今はシアトル市内で生ごみを他のごみと一緒に捨てる事は法律で禁止さ

れています。その代わり、生ごみは資源ごみのように集められて、肥料を作る広い場所です。来日してからは肥料作りを始めました。楽しくてたっぷり作りましたが、問題がありました。アメリカでも同じ問題にぶち当たりました。農業や園芸をしない僕は作った堆肥とばかり肥料の使い道がありません。伊達市に引越す前は隣に住んでいた農家さんにあげました。伊達市でも農家の方と友達になりたいと思います！  
(トニー)

## 地域の魅力 ふる里再発見

### 梁川八幡神社の社殿 ~ 拝殿

梁川八幡神社  
企画展開催

5/18 ⑨まで  
保原歴史文化資料館



拝殿

拝殿は、本殿と並ぶ神社の主要な建物で、参道を進んで突き当たりに見える大きな瓦屋根が特徴的です。(瓦が落下する恐れがあるため、現在は屋根をシートで覆っています。)  
間口7間(13・9m)、奥行き2間(4・8m)の入母屋造りで、間口の中央部分3間が吹き放ちになっている「割拝殿」という形式です。戦時中に本殿との間に幣殿が増築されましたが、平成27年に老朽化に伴い解体撤去しました。そのため、今は本来のように、参拝する際に本殿を見渡すことができるようになりました。

江戸時代の建築と見られる拝殿も、雨漏りなどの傷みが進んでいたため、本殿と共に損傷具合の調査が行われました。過去の屋根葺き替えの記録によると、現在の瓦屋根は昭和5年(1930)に施工されたものであることがわかりました。明治時代に描かれた絵図を見ると雨戸などの建具もなかったようで、建築当時は今とはだいぶ印象が違っていたと想像できます。

拝殿も建築年に関わる記録は今のところ発見されていません。将来、解体を伴う大きな工事が行われた際には、本殿と同様に新たな記録が発見されると期待できます。



屋根葺き替えの棟札